

TABSXの動作環境

◎PCについて

- ・OS WINDOWS XP(SP3), VISTA, 7, 8, 8.2, 10
(いずれも 32bit, 64bit 動作可能)
- ・画面表示能力 1200 x 768 ドット以上表示できること。

◎PCの動作設定（競馬開催当日 終日自動運転するために必要です。）

- ・インターネット環境 ADSL以上の通信回線に常時接続必要。
- ・スクリーンセイバー 無効に設定すること。
- ・省電力設定 スリープは無効に設定すること。

◎個人資格

- ・JRAのIPATの口座を開設している必要があります。（自動投票するため）
- ・JRAVANの、「DataLab会員」である必要があります。
(開催情報や、各レースの出馬表やオッズを取得するため)

TABSXのインストールの方法

◎以下の順序でインストールします。

1) [JVLink.EXE]のインストール

PCが、JRAVANのDataLabから、各種データを取得するために
これを利用します。

【注】既にDataLabをご利用のPCの場合は、インストール不要です。

2) ランタイム・ルーチンのインストール

- ・ **Microsoft .NET Framework 4.0** (32bit, 64bit)
- ・ **Microsoft .NET 4.0 Langpack** (32bit, 64bit)

3) レポート表示用のランタイム・ルーチンのインストール

- ・ TripleAutoBetSX用 **レポート表示ランタイム** (32bit, 64bit)

4) TripleAutoBetSX のインストール

◎以上でインストールは、終了ですが、TABSXの起動前に、

「**起動用のアイコン**」を

作成し直す必要があります。以下の手順に従ってください。

(大変重要な作業です。必ず行ってください)

TABSXの起動用アイコンの作成方法

- 1) インストール時に、自動的にデスクトップにアイコンが作成されますがこのアイコンから起動すると、TABソフトは、セキュリティの関係上、OSが自動的に仮想メモリ上で実行します。
(「管理者として実行」したことになりません)
- 2) そこで、新たに起動アイコンを作成します。
インストール時にデスクトップに作成されたアイコンをゴミ箱に削除してください。
- 3) 次に、
C:¥Program Files(x86)¥MMSL¥TripleAutoBetSX¥
を開いて、中にあるファイル 「TripleAutoBetSX.exe」 を
右クリックして「ショートカットの作成」を選びます。
これで、新たな起動アイコンが作成されました。

TABSXの起動方法

- 1) 前項で作成したアイコン上で、マウスを右クリックするとメニューが表示されます。
一覧から「**管理者として実行**」をクリックで、TABSXは正しく起動されます。
- 2) この方法で起動した場合は、
取得したデータなども正規の保存場所に格納されます。

取得データの格納場所。

32bit PCの場合

C:¥Program Files(x86)¥MMSL¥TripleAutoBetSX¥JVData
(当日実践時に取得されたデータ群)

C:¥Program Files(x86)¥MMSL¥TripleAutoBetSX¥JVDataFIX
(前日、一括取得されたデータ群)
(当日一括取得、過去日データ取得で取得された確定データ群)

64bit PCの場合

C:¥Program Files¥MMSL¥TripleAutoBetSX¥JVData

(当日実践時に取得されたデータ群)

C:¥Program Files¥MMSL¥TripleAutoBetSX¥JVDataFIX

(前日、一括取得されたデータ群)

(当日一括取得、過去日データ取得で取得された確定データ群)

- 3) アイコンを作成し直して、管理者として実行しなかった場合は
データはOSによって自動的に仮想場所に格納されます(Virtual Store)